

10/2 南新子科

# 難治性かゆみ治療めざす

## 公開シンポで成果発表

10月10日、順天堂大

順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所（高森健二所長）は10月10日、お茶の水キャンパス・センチュリータワー（東京都文京区本郷）で、第2回公開シンポジウム「難治性“かゆみ”の発症機構と予防・治

療法開発の研究基盤構築」を開催する。参加費は無料。申し込み不要で聴講できる（定員135人）。同研究所は“かゆみ”を環境要因関連疾患の発症・治療過程で出現するサインと捉えて、基礎医学と臨床

医学の両側面から発症機構を解明し、その予防・治療法を開発することを目的とした研究を、文部科学省平成25年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の支援で平成29年度までの5年間実施している。

今回のシンポジウムでは、特別講演として五十嵐靖之特任教授（北海道大学大学院先端生命研究院）と富永真琴教授（自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター）が講演。特定講演として若手研究者を中心とした、“難治性かゆみ”に関するこれまでの研究成果が発表される。

△問い合わせ▽順天堂大学環境医学研究所、電話047-353-3171、E-mail:kanken@juntendo.ac.jp